

有本 寛 ARIMOTO Yutaka 金曜 1 時限

I. 主な担当科目

上級開発経済学 B

II. 研究分野

開発経済学、農業経済学、近代日本経済史

III. 研究分野（英語表記）

Development Economics, Agricultural Economics, Japanese Economic History

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

1. 研究活動や論文執筆にあたっての倫理、ルール、マナーを理解していること。日本学術振興会の『科学の健全な発展のために：誠実な科学者の心得』（<https://www.jsps.go.jp/j-kousei/rinri.html>）を熟読しておくこと。さらに、図書館主催の「レポート・論文の書き方」講習会を受講していることが望ましい。
2. 研究課題が私自身指導可能であること（開発経済、農業経済、近代日本経済史）。
3. ミクロ経済学と計量経済学について大学院生として中級程度の知識をもっていること。
4. 定量的な分析をおこなう場合は、Stata や R などの統計処理アプリケーションで、基礎的なプログラミングが行えること。
5. 「ワークショップ／リサーチ・ワークショップ（日本・アジア経済）」を併せて履修すること。

V. ゼミ選考期間

2021 年 3 月中にメール (arimotoy[at]ier.hit-u.ac.jp) で連絡し、志望動機と以下の要件を満たす研究計画書を送って下さい。[at]は@に読み替えて下さい。

研究計画書の要件：

- 1) 修士論文のテーマ候補（関心事項）を 5 つ。
- 2) それぞれについて、(1) 目的・課題、(2) 背景・動機、(3) (可能なら) 利用可能なデータ、を 5 行程度で。

その後、4 月の履修届出期間中に個別面談を行います（成績表を用意すること）。

VI. 指導方針

修士 1 年次は、コースワークに集中することが望ましいので、原則聴講のみとします（単位は出しません）。

VII. 博士後期課程への進学要件（コア科目）

ミクロ経済学と計量経済学のコア科目、両方を履修・合格していること。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

ミクロ経済学と計量経済学のコア科目、両方を履修・合格していること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他）

大学院中級レベルのミクロ経済学および計量経済学の知識を有していること。

大学院レベルの開発経済学、農業経済学、日本経済史関連の科目（本学でいえば、上級開発経済学、開発政策論、地域経済論、移行経済論、比較経済発展論、地域開発論など）を少なくとも 1 科目履修・合格していることが望ましい。

X. 共同開講者に関するメモ

XI. 詳細リンク先 URL

なし。